

ファイル名変更スクリプト

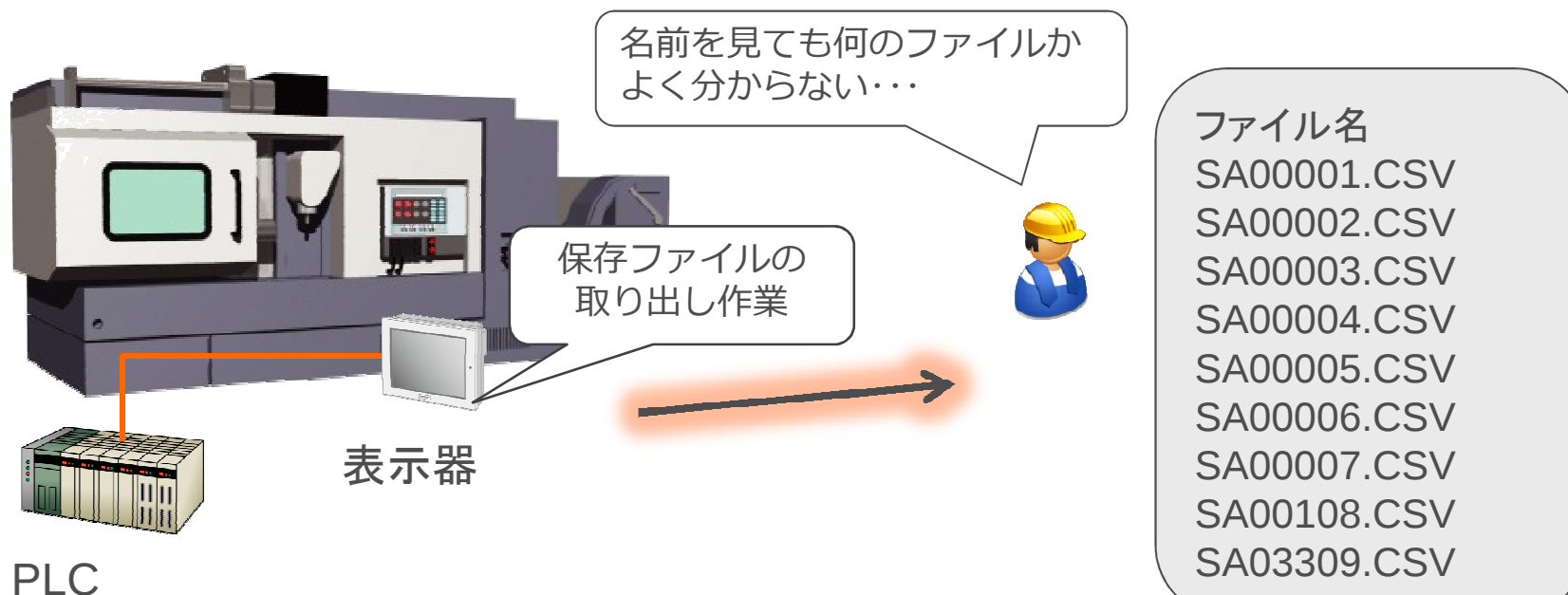
Pro-face Japan
Digital Electronics Corporation

ターゲット	• 温度や電流値など簡易なデータ収集を行っているユーザー 例： OEMメーカー：装置異常時につかう解析データの収集 ENDユーザ：ロットごとの装置稼働情報をタンキング 等
訴求ポイント	●ひと目で分かるファイルの内容 任意のファイル名で保存できるので、 いつ、どの装置の、何の内容か、 一目瞭然で直ぐに分かります
	●長期間のデータ保存に最適 ファイル名を「年月日時分秒」で残せるから 過去のデータも見つけやすくなります

収集したデータのファイル保存ができて、固定ファイル名では扱いづらい

既存構成と問題点

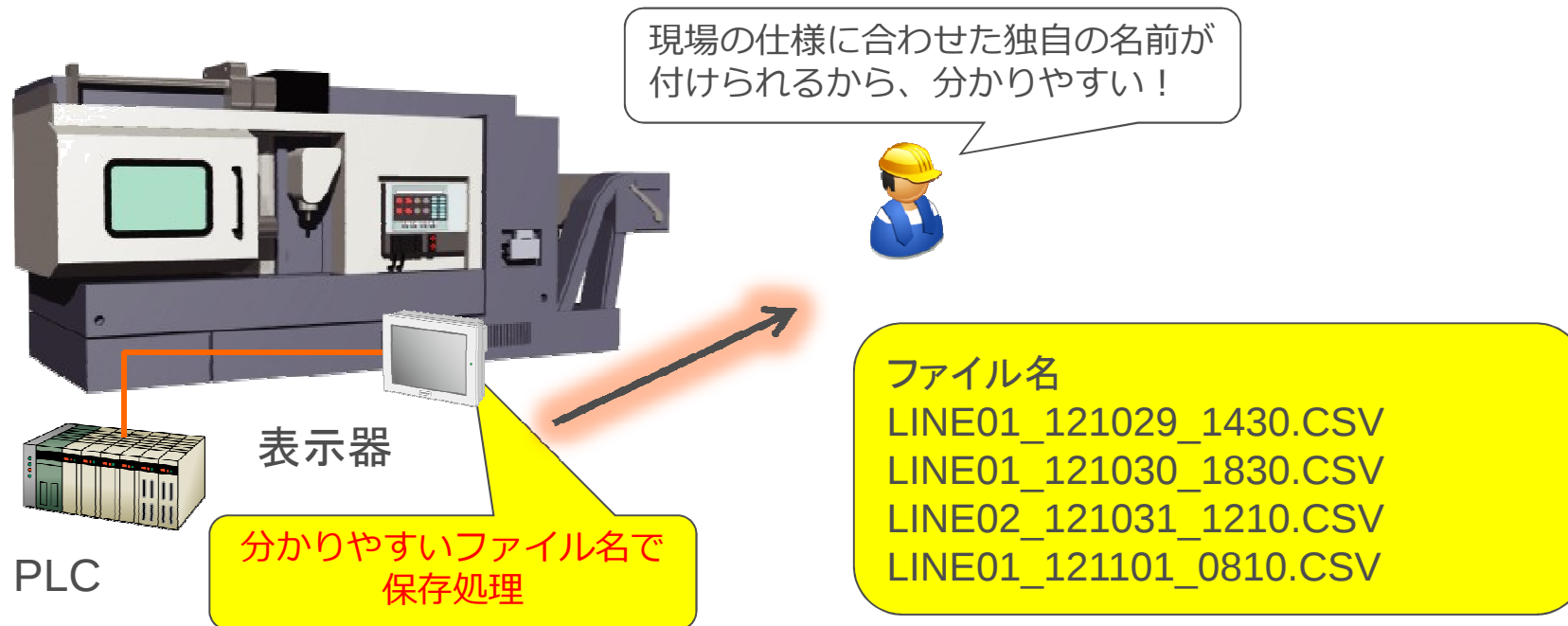
装置のデータ収集を行い続ければ、保存データ量が増えてるのは当然で、次は管理方法が問題。日増しに増えるファイルを管理するのに、無機質な番号でしか分けられない。ファイルの内容チェックは毎回OPENしており、大変手間が掛かっている



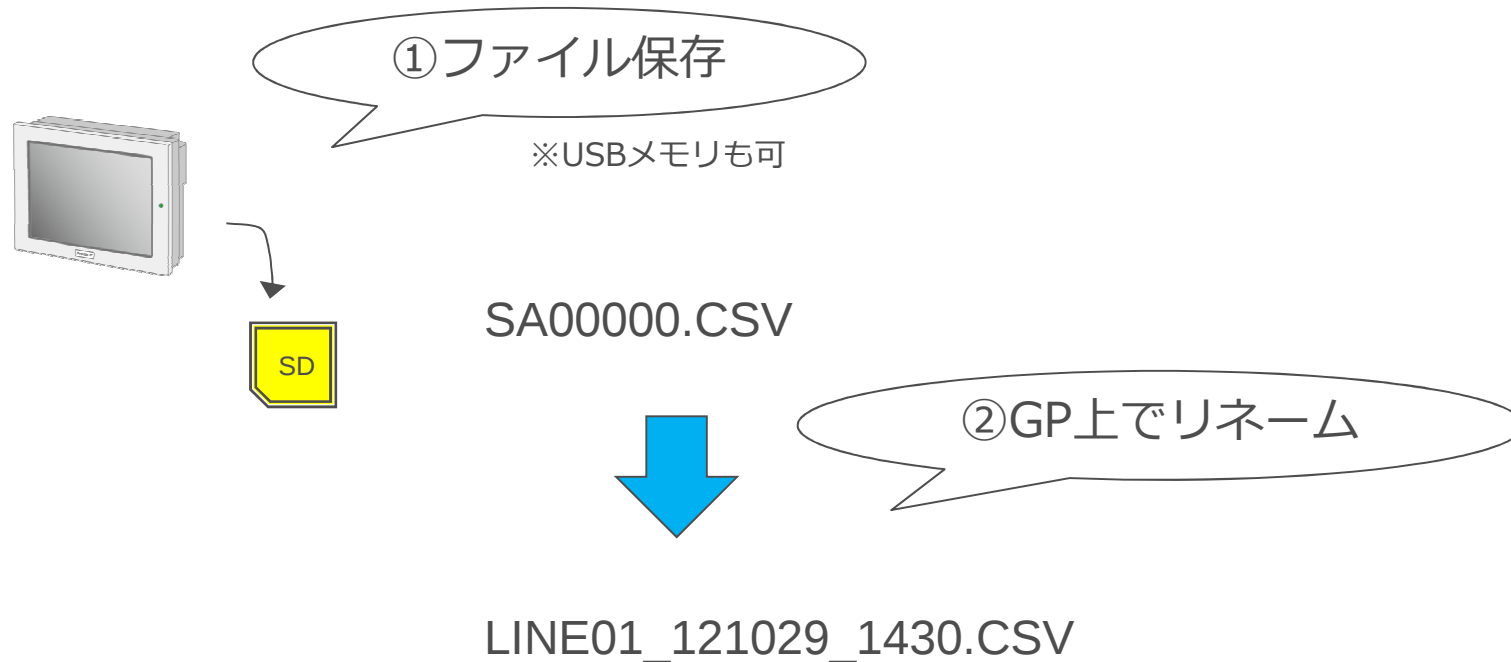
自由なファイル名を指定できるように機能拡張できます

- ★ファイル名に製品名やLot番号を付けることで何のデータが一発把握！
- ★さらに保存日時を加えることで、いつのデータかも直ぐに分かる！

解決方法



- ①固定名でファイル保存（サンプリング、アラーム履歴など）を実行
- ②保存したファイルをリネームする



ファイル名のリネームには、
拡張スクリプト専用のファイルコピー関数「_FileCopy」を使用します

★ファイルコピー関数について

_FileCopy(①コピー元ファイル名, ②コピー先ファイル名, モード1, モード2)

モード1：上書きの設定 / モード2：フォルダコピーの設定

- ・SD/USBストレージ内のファイルやフォルダをコピーまたは移動できます。
コピーの際にファイル名も変更できます。
- ・「①コピー元ファイル名」と「②コピー先ファイル名」は内部アドレスが指定できます。
日時のような変動するデータをファイル名に指定するケースにも対応可能です。
- ・拡張スクリプト専用です。DスクリプトやグローバルDスクリプトでは使用できません。
- ・一部機種を除き、GP3000シリーズ以上で使用できます（※1）

記述例：

```
_FileCopy("¥SD¥SAMP01¥SA00001.CSV", "¥SD¥BACKUP¥Lot12345.CSV", 0, 0)
```

上記の例は、SDカードの¥SAMP01フォルダにある「SA00001.CSV」ファイルを、
¥BACKUPフォルダに「Lot12345.CSV」としてコピーします

※1：次の機種は使用できません

AGP3200*、AGP3302B、AGP330*(Rev4未満)

GP4100シリーズ、GP4000Mシリーズ

LT3000シリーズ、ST3000シリーズ



Pro-face
for the best interface